

会 告

学会役員の改選について

本年度は役員改選の年であり、日本草地学会役員選挙規程により評議員の選挙を実施します。投票用紙は近日中に全有権者に送付します。氏名、所属および会員種別のみを記載した当該地区の被選挙人名簿を同封します。投票は2024年12月9日（月）までとします。原則として郵送によって行ってください。

会費納入のお願い

会費は前納制となっております。2024年度会費を未納の方は、納入をお願いします。会費のお支払いは会員管理システムSMOOSYにログインし（<https://jsgs.smoosy.atlas.jp/mypage>）、バンクチェック（銀行振込）もしくは郵便振替にてお願いいたします（事務簡素化のため、できるかぎりバンクチェックによるお支払いをお願いいたします）。また、2023年度会費を未納の方は、2024年度会費と合わせて至急お納めください。会費が未納の方への学会誌発送は一時停止させていただいております。

表. 会員種別と会費

			会費
個人会員	正会員		10,000 円 / 年
	特別会員	学生会員	5,000 円 / 年
		終身シニア会員	60,000 円
		10年シニア会員	40,000 円 / 10年
	準会員	オンライン会員	15,000 円 / 3年

会費のお支払い、SMOOSYの操作方法等のお問い合わせ先
日本草地学会事務取扱所（jsgs-office@soubun.org）

会員の異動にともなう所属変更の連絡と
メールアドレス登録のお願い

異動等にもないご所属や連絡先が変更となりました会員におかれましては、会員管理システムSMOOSYにログインし（<https://jsgs.smoosy.atlas.jp/mypage>）、各自で変更をお願いいたします。学会事務局では、SMOOSYにご登録いただいたメールアドレスに個別のご連絡や学会関連情報を配信しております。メールアドレスが変更になった場合もSMOOSYから変更をお願いいたします。なお、このことにより皆様のアドレスが会員相互に知られることはありません。また、メールアドレスの登録がお済みでない場合や退会される場合は事務取扱所（jsgs-office@soubun.org）までお知らせください。

若手会員の国際学会参加支援制度

日本草地学会所属の若手会員の国際的な活動を支援するため、

海外で開催される学会等に参加する際の参加費の一部を支援する制度あります。対象者は若手の正会員（学会参加時に33歳以下もしくは博士課程修了後5年以内）および学生会員で、草地学に関連し、海外で開催される学会、シンポジウムで草地学教育委員会において妥当と認められるものに対して適用されます。

詳しくは学会ホームページ（<https://grasslandscience.jp.org/wakate-kokusai/>）を御覧ください。申請用紙もダウンロードできます。

会員拡大のためのご協力をお願い

日本草地学会ホームページ（<https://grasslandscience.jp.org/nyukai/#nyukai>）に「入会のすすめ」を掲載しており、入会申請も同ページからできるようになっています。友人、知人等で入会を希望される方がおられましたら本ホームページをご紹介いただき、会員数の拡大にご協力をお願いいたします。

2025年度日本草地学会宮崎大会のお知らせ

2025年度日本草地学会宮崎大会（第71回総会、第81回発表会）を下記の要領で開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。詳細について変更があった場合は随時大会ホームページに掲載いたしますので、更新情報にご注意ください。

大会までのスケジュール

- 講演受付および講演要旨提出期間：
2024年12月13日（金）から2025年1月10日（金）
受付・要旨提出先：大会受付専用サイト
- 小集会の申込み締切：2025年1月10日（金）
大会用メールアドレス宛
meeting2025@grasslandscience.jp.org
- 参加事前申込（郵便振替）締切：
2025年2月14日（金）
- 講演資料提出期間：
2025年2月21日（金）から2025年3月7日（金）
17時厳守
講演資料提出用メールアドレス宛
presentation2025@grasslandscience.jp.org

1. 会場

宮崎観光ホテル

〒880-8512 宮崎県宮崎市松山1丁目

会場までの交通手段は以下のURLをご参照ください。

<https://www.miyakan-h.com/outline/access.html>

2. 日程（仮日程です。時間等は変更される場合がありますので、大会ホームページで最新版をご確認下さい。）

2025年3月17日（月）

10：00－12：00 日本草地学会評議員会

- 12:00- 受付, 賛助会員展示
 13:00-15:00 口頭発表
 15:15-17:00 口頭発表 (優秀若手発表者賞)
 17:00-18:00 優秀若手発表賞選考委員会

2025年3月18日(火)

- 8:30- 受付, ポスター展示, 賛助会員展示
 9:00-12:00 国際[公開]シンポジウム(詳細は70巻2号に掲載済)
 11:00-12:00 英文誌 AE 会議
 12:00-13:00 和文誌・英文誌合同編集委員会
 13:30-14:30 ポスター発表コアタイム(奇数番号コアタイム, 高校生発表含む)
 14:45-17:30 総会, 学会賞・優秀若手発表賞授与式, 学会賞受賞講演
 18:00-20:00 懇親会 会場: 宮崎観光ホテル・紅(くれない)の間

2025年3月19日(水)

- 8:30- 受付, ポスター展示, 賛助会員展示等
 9:00-11:00 口頭発表
 11:00-12:00 ポスター発表コアタイム(偶数番号コアタイム)
 12:00-13:00 各種委員会
 13:00-15:30 口頭発表, 企画集会, 小集会等

備考: 日本草地学会「若手の会」2025年度春合宿[3月19日(水) 午後~3月20日(木)]

3. 講演申込, 講演要旨の作成・提出

- (1) 発表者は, 年会費と参加費を納入した学会員に限りません。ただし, 連名者はその限りではありません。
- (2) 発表課題は, 発表者1名につき2課題以内です。
- (3) 発表方法は, 口頭発表またはポスター発表とします。発表方法の希望は講演申込時に指定していただきますが, ご希望に添えないことがあることをご了承ください。発表方法は大会ホームページでご確認ください。
- (4) 講演申込は, インターネットでの自動受付で行います。大会ホームページより大会受付専用サイトにアクセスして, 受付を行って下さい。申込受付期間は, 2024年12月13日から2025年1月10日です。1月10日の17時に受付を終了します。原則として大会受付専用サイトから行って下さい。また, 受付は演題ごとに行ってください。すなわち, 2演題の申し込みを行う場合は, 別々に受付を行ってください。
- (5) 講演要旨は, 1演題当たり A4(上下左右余白 25mm) で1枚です。大会受付専用サイトから最新のフォーマットをダウンロードして作成してください。講演要旨原稿は, Word ファイルと PDF ファイルに変換した2つのファイルを, 「添付ファイル」の項目欄で添付して送信してください。一太郎ファイルの受付は行いません。送信後, 受領の自動返信メールが送付されますので, 通知がない場合はお問い合わせ下さい。なお, 一度受け付けた演題は変更できません。アップロード前に十分推敲して下さい。

問い合わせ先: meeting2025@grasslandscience.jp.org

4. 口頭発表 (一般講演)

- (1) 講演時間は講演 12 分, 質疑 3 分の合計 15 分です (第 1 鈴 10 分, 第 2 鈴 12 分, 第 3 鈴 14 分 30 秒)。

- (2) 「コンピュータ」による発表のみとし, 「スライド」あるいは「OHP」は使用できません。発表当日のコンピュータの操作は発表者または共同研究者が行ってください。

- (3) 講演資料は, PDF ファイルのみの受付とします。ファイル名を講演番号と講演者名(講演番号-氏名)で保存し presentation2025@grasslandscience.jp.org まで添付ファイルとして提出ください。受付期間は, 2025年2月21日から2025年3月7日です。3月7日の17時に受付を終了します。なお, PDF ファイルは送信前に必ずご自身で動作確認をお願いします。

- (4) PDF ファイル受付後, 2 日以内(土日祝日を除く)に大会事務局より電子メールアドレスに返信いたします。受領メールが届かなかった場合は, meeting2025@grasslandscience.jp.org までご連絡ください。

- (5) PDF ファイルは, 発表終了後に全て消去いたします。

- (6) PDF ファイルの受付に関するお問い合わせは, meeting2025@grasslandscience.jp.org までお願いいたします。

5. 口頭発表 (シニア講演)

- (1) シニア講演はシニア会員に限定せず, 大会参加資格のあるすべての方を対象とします。

- (2) 講演内容は, ①広い視野に立った啓蒙的な内容, ②一つの課題を深く掘り下げた内容, ③特定分野の研究情勢を紹介する内容, ④その他, 一般講演の範疇に入らないもの(新規の研究成果を含む必要はない)等とします。

- (3) 講演資料の提出方法については, 上記の「口頭発表 (一般講演)」を参照ください。

- (4) シニア講演に関するお問い合わせは, meeting2025@grasslandscience.jp.org までお願いいたします。

6. ポスター発表

- (1) 1 課題のポスターは縦 140cm×横 85cm に収まるように作成してください。

- (2) ポスターの取り付けは, 大会 2 日目 (3 月 18 日) の 8 時 30 分から可能です。

- (3) ポスター発表者は指定された発表時間帯(コアタイム)にポスターの前に待機し, 説明してください。

7. 大会参加申込み

郵便振替による参加費の支払いをもって参加申込みとします。先に講演申込みをされた場合は, 事前申込締切りの 2 月 14 日までに参加費の支払いをされないと, 講演申込み完了となりませんのでご注意ください。申込みは第 70 巻第 3 号に同封の「日本草地学会大会事務局」宛の郵便振替用紙を使用し, 通信欄に所定の事項を記入して下さい。備え付けの振込用紙でも構いません。複数名分をまとめて振り込む場合は, 氏名等をそれぞれ記入して下さい。会員の方は ID 番号(学会誌送付封筒に記載)も記入して下さい。なお, 郵便振替による参加費の支払いは 2025 年 2 月 28 日まで受付可です。期日を過ぎた場合は大会当日にお支払いください。

郵便振替口座 00110-4-704566

口座名 日本草地学会大会事務局

- (1) 大会参加費 (講演要旨代を含む)

2 月 14 日まで 2 月 14 日以降

正会員 7,000 円 7,500 円

学生会員 4,000 円 4,500 円

非会員 8,000 円 8,500 円

学生非会員 4,500 円 5,000 円

ただし、シニア講演（発表を伴わない）に限定して参加する場合は大会参加費を徴収いたしません（講演要旨集は別途ご購入ください）。その際は、2月14日までに、meeting2025@grasslandscience.jpへお知らせください。

(2) 講演要旨集

当日会場で購入 大会後郵送
3,000 円 3,500 円

8. 懇親会

日時：2025年3月18日（火）18：00－20：00

場所：宮崎観光ホテル紅（くれない）の間にて開催します。

会費：7,000 円（事前申込み）。

9. 優秀若手発表賞について

本大会では、日本草地学会優秀若手発表賞（口頭発表）を設定します。本賞に関しては、大会ホームページに記載しています。エントリーを希望する者は、指定のエントリーシート（大会受付専用サイトよりダウンロードして下さい）に記載の上、大会受付専用サイトから講演要旨と共に「添付ファイル」の項目欄を利用して送信してください。エントリーシートの申込受付期間は、2024年12月13日から2025年1月10日です。1月10日の17時に受付を終了します。講演資料の提出方法については、上記の「口頭発表（一般講演）」を参照ください。優秀若手発表賞の選考結果は、大会2日目の朝に大会受付でアナウンスします。優秀若手発表賞授与式は、大会2日目（3月18日）午後を予定しています。

10. 企画シンポジウム・企画集会

本大会では企画シンポジウムと企画集会を予定しています。詳細は未定ですが、内容が決定次第大会ホームページに掲載いたします。

11. 小集会の申込み

小集会の開催を希望される方は、大会ホームページの案内に従って、2025年1月10日までに大会用メールアドレス（meeting2025@grasslandscience.jp）にお申込みください。

12. 高校生研究発表

高校生による研究発表（ポスター発表）を募集します。

- (1) 参加資格：高等学校または高等学校に相当する教育機関に在籍する生徒個人あるいはグループ（普通科、専門学科、総合学科などの教育課程および校種等は問いません）。
- (2) 発表内容：草地および草原に関わる調査研究および実践的な取組みに関わる内容を幅広く受け付けます。
- (3) 発表者全員および引率教員等の関係者の大会参加費は無料です。他の講演・発表も自由に聴講可能です。
- (4) 申し込み方法などの詳細は決定次第大会ホームページに掲載いたします。
- (5) 高校生研究発表に関するお問い合わせは、草地学教育委員会（担当：八代田真人，yayo@gifu-u.ac.jp）までお願いいたします。

13. 宿泊の案内

宿泊施設は大会事務局では斡旋いたしませんので、各自でご予約をお願いいたします。



写真 1 宮崎観光ホテル外観



写真 2 館内温泉

約をお願いいたします。

なお、お泊まりは、宮崎観光ホテルが便利です。ホテル直予約大会特別料金（税別・平日）です。

[〒880-8512 宮崎県宮崎市松山1丁目1-1；TEL：0985-27-1212]

西館：シングル 11,700 円（1泊朝食付き）、ツイン（1名利用の場合）15,000 円（1泊朝食付き）

東館：シングル 13,350 円（1泊朝食付き）

14. 託児室の斡旋

会場の近く（徒歩10分ほど）に、民間保育所 KID'S LAND（キッズランド，〒880-0013 宮崎市松橋1-3-7，TEL：0985-60-2120，24時間営業）があり、その一時保育サービス利用にあたっては、事前の予約が必要です。お子様連れで参加を予定されている方は、2025年1月31日までに大会運営委員会メールアドレス（meeting2025@grasslandscience.jp）までにご連絡ください。

15. 連絡・問い合わせ：Eメールでお願いします。

内容が分かるように、下記に示した題目をタイトルにつけて、大会用メールアドレス（meeting2025@grasslandscience.jp）までご連絡ください。

- (1) 題目：会場関係、講演・プログラム関係、その他
- (2) メールタイトル記載例：講演・プログラム関係（返信メールが届きません）、等

本号に掲載された報文に対する公開の質疑あるいは討議（4,000字以内、日本草地学会誌編集委員会宛）は2025年1月31日まで受け付けます。

—2025年度 日本草地学会宮崎大会 第71回総会・第81回発表会—

会場：宮崎観光ホテル
宮崎県宮崎市松山1—1—1

日程： 2025年3月17日（月）～ 3月19日（水）

大会本部	大会期間中（3月17日8：00～3月19日16：00）	東館1F・福寿
受付	3月17日（月） 11:30～17:00	東館2F・ホワイエ
	3月18日（火） 8:00～17:00	同上
	3月19日（水） 8:00～13:00	同上
賛助会員展示	3月17日（月）11:30～3月19日（水）13:00	同上
発表会 優秀若手発表賞発表	3月17日（月） 15:45～17:00	A会場
一般口頭発表	3月17日（月） 13:00～15:30	A会場
	3月19日（水） 9:00～11:15	A, B, C会場
ポスター展示	3月18日（火）8:00～3月19日（水）12:00	ポスター発表会場
ポスター発表 奇数コアタイム 高校生発表	3月18日（火） 13:30～14:30	同上
偶数コアタイム	3月19日（水） 11:00～12:00	同上
ポスター撤去	3月19日（水） 12:00～13:00	同上
総会、 学会賞・優秀若手発表賞授与式、 学会賞受賞講演	3月18日（火） 15:15～17:30	A会場
公開シンポジウム	3月18日（火） 9:00～12:00	A会場
懇親会	3月18日（火） 18:00～20:00	東館2F・紅
企画集会	3月19日（水） 13:00～15:30	A会場
若手の会小集会	3月19日（水） 13:00～15:00	C会場
日本草地学会評議員会	3月17日（月） 10:00～12:00	B会場
優秀若手発表賞選考委員会	3月17日（月） 17:00～18:00	事務局
英文誌AE会議	3月18日（火） 11:00～12:00	B会場
和文誌・英文誌合同編集委員会	3月18日（火） 12:00～13:00	B会場
国際情報担当委員会	3月19日（水） 12:00～13:00	B会場
草地学教育委員会	3月19日（水） 12:00～13:00	C会場

A会場：東館2F 日向（ひむか），**B会場**：東館2F 初雁（はつかり），**C会場**：東館2F 大虹（おおにじ），
ポスター発表会場：東館2F ホワイエ，**事務局**：東館1F 福寿（ふくじゅ）

— 日本草地学会宮崎大会 日程 —

3月17日（月）		8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00										
受付 賛助会員 展示	東館2F ホワイエ									受付・賛助会員展示																								
A会場	東館2F 日向（ひむか）													口頭発表					優秀若手 発表賞発表															
B会場	東館2F 初雁（はつかり）					評議員会																												
事務局	東館1F 福寿（ふくじゅ）	事務局																		優秀若手発 表賞選考委 員会														

[illegible]

3月19日（水）		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
受付 賛助会員 展示	東館2F ホワイエ	受付・賛助会員展示											
A会場	東館2F 日向（ひむか）				口頭発表				企画集会 「フェストロリウム新品種「なつひかり」を用いた九州地域における牧草栽培の温暖化対策」				
B会場	東館2F 初雁（はつかり）				口頭発表			国際情報担当委員会					
C会場	東館2F 大虹（おおにじ）				口頭発表			草地学教育委員会	若手の会小集会 「南九州における自給飼料生産およびスマート畜産技術について」				
ポスター 発表会場	東館2F ホワイエ	ポスター展示			偶数番号 コアタイム	ポスター撤去（13:00までに）							
事務局	東館1F 福寿（ふくじゅ）	事務局											

公開シンポジウム

『モンスーンアジア地域における飼料自給率向上に向けて』

“Towards the Improvement of Forage Self-Sufficiency Ratio in the Monsoonal Asian Regions”

日時： 3月18日（火）9：00－12：00

場所： A会場（東館 2F 日向）

企画者： 宮崎大学農学部教授 西脇亜也

＜開催趣旨＞ 国産による飼料の利用拡大によって飼料自給率を向上させていくことは、わが国のみならず、モンスーンアジア地域に共通した畜産の抱える課題だと考えられますが、当地域は、高温多湿の気候条件のため、濃厚飼料や乾草などの貯蔵飼料の生産が困難です。そのため、サイレージ生産による貯蔵粗飼料生産等がおこなわれてきましたが、近年では、飼料用米や子実とうもろこしの濃厚飼料化、未利用資源のエコフィード技術開発等が行われています。そこで、タイ、インドネシアの研究者、国産飼料生産に取り組む農業法人、宮崎県内の研究者等を招き、モンスーンアジア地域での飼料自給率向上に向けた技術的な課題についての国際シンポジウムを開催いたします。

＜プログラム＞

1. 「国産飼料 100%の牛肉生産を可能にした地域の農家や企業と連携した飼料生産・供給体制の実現」
高橋 徹弥 取締役（株式会社 なごみ農産、山形県天童市）
2. “Utilization of layers by-products as a feedstuff for milk production and quality of dairy cows in South Sulawesi, Indonesia”
Associate Professor, Dr. Renny Fatmyah Utamy（インドネシア・University of Hasanuddin）
3. “*Cichorium intybus*, new forage in Indonesia: Adaptation, production and function to improve animal production”
Professor, Dr. Nafiatul Umami（インドネシア・University of Gadjah Mada）
4. “Utilization of tropical forage in many locations, such as yield, adaptation of tropical grass, and nutrition, to select the good adaptation grass for breeding in Thailand”
Lecturer, Dr. Pattama Nitthaisong（タイ王国・King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang）
5. “Feeding value of cassava pulp for cattle”
Researcher, Dr. Ornvimol Kaeokliang（タイ王国・Department of Livestock Development, Thailand）
6. 「飼料用サトウキビの生産・利用技術の開発」
服部 育男 教授（東海大学農学部）

コメンテーター：

- ・黒木 邦彦 主任研究員（宮崎県畜産試験場酪農飼料部）酪農飼料部の取組
- ・鬼目 祥次 代表取締役（有限会社 鬼目養鶏場、宮崎県小林市）蹄耕法によるバヒア放牧

小集会（若手の会）

「若手の会小集会：南九州における自給飼料生産および

スマート畜産技術について」

日時：3月19日（水）13：00-15：00

場所：C会場（東館2F 大虹）

企画者：○石垣元気（宮崎大）、安在弘樹（宮崎大）

<開催趣旨>

日本草地学会の若手会員および学生で交流し、知識・研究スキル向上を図ることを目的として春合宿を実施します。春合宿では、西南暖地（南九州）における自給飼料生産技術およびスマート畜産技術開発の研究事例について、座学および生産現場での視察を通じた技術紹介を行います。

本小集会は春合宿の一環として開催し、情報提供や意見交換が南九州ひいては西南暖地における自給飼料生産の普及につながることを期待しています。合宿参加者だけではなく、草地学会2025宮崎大会参加者、放牧や牧草・飼料作物生産、西南暖地における畜産に興味のある学生・院生・若手研究者（非会員の方の参加も歓迎）にご参加頂けると幸いです。

<プログラム>

小集会および若手の会春合宿1日目座学：

1. 南九州における飼料用ダイズ生産に関する研究紹介

宮崎大学農学部 石垣元気 氏

2. 放牧家畜の空間分布を制御するロボット牧畜技術の開発に向けた研究事例の紹介

宮崎大学農学部 安在弘樹 氏

3. 宮崎県畜産試験場 酪農飼料部の取組

宮崎県畜産試験場 黒木邦彦 氏

※参考：春合宿2日目（3月20日）

体験・見学：住吉フィールド・長友牧場

・搾乳見学、飼養管理など

・ロボット犬の操作紹介・体験

・南九州の遊休農地を活用した自給粗飼料生産と黒毛和牛一貫経営における粗飼料給与体系の見学

（※参加者数によって行程や移動方法が変更になる可能性があります）

企画集会

「フェストロリウム新品種「なつひかり」を用いた九州地域における牧草栽培の温暖化対策：草地メンテナンスと周年利用栽培」

日時：3月19日（水）13：00-15：30

場所：A会場（東館2F 日向）

企画者：農研機構東北研 東山雅一

＜開催趣旨＞ 近年は温暖化が進み、夏季の高温障害や病害等による夏枯れなどにより荒廃が進展し、最新の優良品種を導入した草地更新による生産性向上が喫緊の課題となっている。私たちは、イノベ事業「越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な草地の高位安定生産技術の開発」で、高栄養多収であり、耐湿性、初期生長に優れるライグラスの品種開発とそれらを用いた草地管理技術の開発に取り組んでいる。具体的には越夏性の強い多年生ライグラス類の新品種フェストロリウム「なつひかり」を開発し、それらを追播して簡易更新を行う「草地メンテナンス」技術と暖地においても年1回播種し冬作だけで梅雨明け後まで栽培する「周年利用栽培体系」技術の開発を行っている。今回は、特に温暖化最前線の九州における「なつひかり」の利用方法と実証について講演し、皆様と意見交換を行い、残りの2年間の研究と実証に活かす場としたい。

＜プログラム＞

1. イタリアンライグラス型フェストロリウム「なつひかり」の育成
清 多佳子 （農研機構畜産研）
2. 九州低標高地における「なつひかり」の周年利用栽培
荒川 明 （農研機構九沖研）
3. 九州高標高地における採草地の草地メンテナンス技術
石井 怜 （大分県畜産研究部）
4. 九州の放牧酪農におけるライグラスの活用
増田 靖 （らくのうマザーズ）、池田堅太郎 （農研機構九沖研）
5. 放牧酪農への「なつひかり」導入の効果
岡崎博則 （霧島牧場）、増田靖 （らくのうマザーズ）、池田堅太郎 （農研機構九沖研）

本研究は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」（JPJ007097）の支援を受けた。

口頭発表プログラム 3月17日			
A会場（宮崎観光ホテル東館 2F 日向（ひむか））			
時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
13:00	北川美弥	201	土壌凍結地帯における採草多刈刈がオーチャードグラスの生産性およびアルファルファ被度に与える影響 ○中村直樹1・松本武彦2・田中常喜1（1道総研酪農試・2秋田県大生物資源科学）
13:15		202	ペレニアルライグラス「ボコロ」と早晚性の異なるオーチャードグラスによる混播草地の生産性と草種構成 ○岡元英樹1・有田敬俊2・二門 世1（1道総研酪農試天北支場・2道総研酪農試）
13:30		203	夏作の耕起と播種を行わないライグラスとメシバニ毛作栽培 ○池田堅太郎・後藤慎吉・荒川 明（農研九沖）
13:45	休憩		
14:00	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
	柿原秀俊	401	南九州における飼料用ダイズの家畜の選好性 ○中原貴之・石垣元気（宮崎大農）
14:15		402	Cowpea silage replacing dietary concentrate in goats fed basal Guinea grass: digestibility, nitrogen utilization, ruminal fermentation, and blood profile ○Armstrong Prince Gynth Sossou・Masato Yayota (UGSAS Gifu University)
14:30	休憩		
14:45	湊啓子	403	イタリアンライグラス「Kyushu1」とエンバク「スナイパー」の混播が、冬季収穫草の発酵品質に与える影響 ○森 欣順1・荒川 明1・加藤直樹2・金子 真1・河内大介1・高井智之1・細田謙次1（1農研九沖・2元農研九沖）
15:00		404	内袋の利用がフレコンバックで常温保管するトウモロコシ子実の品質に及ぼす影響 ○佐々木怜樹・浅沼未歩・小林花音・松山裕城・堀口健一・浦川修司（山形大農）
15:15		405	ライムギの内因性フィターゼ活性の品種間差異とライムギ子実の養鶏用飼料としての評価 ○今井裕理子1・奈良井沙紀2・春日重光1（1信州大農・2信州大院農）
口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。			

口頭発表プログラム 3月19日							
A会場（宮崎観光ホテル東館2F 日向（ひむか））				B会場（宮崎観光ホテル東館2F 初雁（はつかり））			
時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
9:00	菅野 勉	204	イネ発酵粗飼料専用品種「つきあやか」の追肥時期が穂重割合に及ぼす影響 ○関 誠・小橋有里（全酪連酪技研）	9:00	浅野 桂吾	406	オーチャードグラス1番草サイレージを用いて調製したTMRの産乳成績 ○花田正明・稲川桃花・小野塚詩織・川村健介・藤倉雄司（帯広畜大）
9:15		205	秋田県におけるイタリアンライグラスをリビングマルチとした飼料用ダイズ栽培技術の実証 ○由利奈美江・佐藤 楓（秋田畜試）	9:15		407	低温下で増殖する乳酸菌ペディオコッカス・イノビナタスを用いたイネホールクロップサイレージの発酵特性と二次発酵抑制効果 ○谷口大樹1・山根瑞穂2・福馬敏敏2・小林寿美3・御園里冬美1・阿部健太郎1・河野幸雄2・遠野雅徳3（1雪印種苗・2広島畜技セ・3農研畜産）
9:30		206	バヒアグラス草地ヘダイズ追播による乾物収量および粗タンパク質含量への効果 ○金子 真1・後藤慎吉1・林 征幸2・加藤直樹3・松岡 誠1（1農研九州・2農研本部・3農林水産省）	9:30	休憩		
9:45	休憩			9:45	座長	1. 草地生態・システム分析 ・緑地環境	
10:00	折原 健太郎	207	早晩性の異なるトウモロコシ品種の群落高の予測 ○藤竿和彦・出口 新（農研東北）	10:00	渡辺 也恭	101	地球観測衛星（Sentinel-2）を用いた高速道路法面草地の緑化工事前後の植生モニタリング ○西脇亜也1・横田 漢2・児玉寛太郎2・清松秀生2・加藤善勝2（1宮崎大農・2グリーンイノベーション宮崎）
		208	東北南部における飼料用トウモロコシ二期作栽培への挑戦 ○小橋有里1・関 誠1・松尾守展2・住田憲俊2・阿部佳之2（1全酪連酪技研・2農研畜産）	10:15		休憩	
		209	暖地水田転作畑における窒素施肥方法とトウモロコシ根腐病個体率との関係 ○伊東栄作（農研九沖）	10:30	池田 堅太郎	103	川渡ススキ草地における長期草地動態調査：42年間の変化 ○小倉振一郎1・板野志郎2・下田勝久3・山本嘉人3（1東北大院農・2新潟大農・3農研畜産）
210		飼料用トウモロコシ栽培におけるアトラジン・S-メトラクロールおよびトブラメゾンを用いたワルナスビの防除法 ○内野 宙1・赤松佑紀1・佐々木 梢1・須永義人1・菅野 勉2（1農研畜産・2農研西日本）	10:45	104		能登半島地震による牧草地の液状化現象と牧草生産に関する研究 ○浅野桂吾1・富井水萌1・友田和沙1・堀 晃宏2・橋谷田 豊1（1石川県大生物資源・2石川県大農場）	
11:00				11:00		105	ノイバラ類の切断片からの再生能力：シバ植被面における評価 ○柿原秀俊・堤 道生・平野 清・渡辺也恭（農研西日本）

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。
時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月19日			
C会場（宮崎観光ホテル東館2F 大虹（おおにじ））			
時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動	
9:00	手島茂樹	301	ウシの首上部と下部に配置したGPS端末の測位精度および無線基地局への通信成功回数の比較 ○胡日晝・柿原秀俊・平野 清・渡辺也恭（農研西日本）
9:15		302	ウシ装着型集畜デバイスの試作と集畜作業時間の削減 ○進藤和政（農研畜産）
9:30		303	選別・分離ゲートによる放牧地での牛の分離 ○北川美弥1・喜田環樹1・中村春男2・萱森好二2・宮脇 豊2（1農研畜産・2サージミヤワキ）
9:45	休憩		
時間	座長	6. 育種	
10:00	藤森雅博	601	いもち病抵抗性イタリアンライグラスと超極早生エンバクの夏播き混播栽培における粗蛋白質および可消化養分総量の収量 ○荒川 明・上床修弘・高井智之（農研九沖）
10:15		602	strigosaエンバク新品種の異なる播種期条件に対する乾物収量および農業特性の応答 ○上床修弘1・荒川 明2・高井智之2・桂 真昭2（1農研作物・2農研九沖）
10:30		603	チモシーにおける初期生育性の間接選抜後代の生育特性 ○飯田憲司1・高畠聡史1・鈴木美玲1・足利和紀2（1道総研北見農試・2道総研畜試）
10:45		604	飼料作物・芝類の突然変異育種 ○中川 仁（元農業生物資源研究所放射線育種場）
口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。			

ポスター発表 （宮崎観光ホテル東館 2F ホワイエ）	
コアタイム：18日13：30－14：30 奇数番号 高校生発表 19日11：00－12：00 偶数番号	
1. 草地生態・システム分析・緑地環境	
P01	斜面崩壊した野草地植生の回復過程における崩壊深度と地下器官の関係 ○岡本智伸1・長尾薫乃1・石田裕佳子1・大庭明莉1・天野真沙1・高木数馬1・岩本竜介1・沖村慎太郎1・高屋 寿1・樫村 敦1・服部育男1・市原啓吉2（1東海大農・2町古閑牧野組合）
P02	オギスキ圃場を対象とした空撮およびSfM条件の検討 ○牧島美夢1・吉村元博2・眞田康治2・二門 世3・高原美規1・秋山征夫2（1長岡技科大院物生・2農研北海道・3道総研酪農試天北支場）
P03	阿蘇地域の半自然草地における周辺環境および草丈と野生小型哺乳類の生息密度の関係 ○樫村 敦1・小田原諒汰1・笹原健吾1・稲永敏明1・松本大和1・久保和弘2・服部育男1・岡本智伸1（1東海大農・2東海大熊本オフィス）
P04	エゾノギシギシ検出のための深層学習モデル開発における学習データセット統合の有用性 ○鎌田健人1・黒木康士朗2・牧島美夢2・八木隆徳3・宮地 慎3・眞田康治3・高原美規2・秋山征夫3（1長岡技科大生・2長岡技科大院物生・3農研北海道）
P05	放牧管理GISデータベースを利用した放牧牛生態に及ぼす植生および季節の影響評価 ○寺澤侑作1・板野志郎2・渡部雅人2・橋本 凌2・田中繁史2（1新潟大自然科学研究科・2新潟大農学部）
P06	RTK-GNSS搭載UAV撮影による地上基準点を用いないトウモロコシ数値表層モデル取得の検討 ○二門 世（道総研酪農試天北支場）
P07	放牧草地植生のネットワーク分析技術の開発 ○小幡証貴1・板野志郎2・小鮎林音2・小倉振一郎3（1新潟大自然科学研究科・2新潟大農学部・3東北大農学研究科）
2. 造成・管理・栽培	
P08	台風時における雌穂節上位部の稈切除が子実トウモロコシの倒伏に及ぼす影響 ○森田昌孝（大分工業高等専門学校）
P09	ノイバラ類の切断片からの再生能力：裸地における評価 ○柿原秀俊・堤 道生・平野 清・渡辺也恭（農研西日本）
P10	千葉県成田市における子実トウモロコシの多収実証事例 ○内野 宙1・阿部佳之1・住田憲俊1・野口 周2・赤松佑紀1・佐々木 梢1・須永義人1・大室健治2・菅野 勉3（1農研機構畜産研究部門・2農研機構本部・3農研機構西日本農業研究センター）
P11	不耕起播種機を用いない飼料用ダイズ不耕起播種法の検討 ○荒巻卓郎1・石垣元気2（1宮大農院・2宮大農住吉フィールド）
P12	飼料用トウモロコシ栽培における難防除雑草ガガイモのポット栽培による生育特性 ○足利和紀（道総研畜試）
P13	北海道東部地域における追播および刈取管理がペレニアルライグラス導入草地の植生被度に及ぼす影響 ○秋山雄希1・田中常喜1・有田敬俊1・山田敏彦2（1道総研酪農試験場・2北海道大学）
P14	Assessment of agronomic traits potential and yield performance of Urochloa species in central of Thailand ○Pakanan Jiamtae・Pattama Nitthaisong（School of Agricultural Technology, KMITL Thailand）
ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。 ポスターは3月19日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。	

ポスター発表 （宮崎観光ホテル東館 2F ホワイエ）

コアタイム：18日13：30－14：30 奇数番号 高校生発表
19日11：00－12：00 偶数番号

2. 造成・管理・栽培

P15	南九州地域における暖地型イネ科牧草と暖地型マメ科牧草の混播栽培における生産性の検討 ○飛佐 学・古賀拓音・尾北智和・井戸田幸子（宮崎大農）
P16	北東北の積雪寒冷地におけるエリアンサスおよびオギススキの生育評価 ○松本武彦1・増田寛志1・頼 泰樹1・寺島義文2（1秋田県立大学・2国際農研）
P17	スーダングラスにおける早晚性が異なる品種の生育特性 ○高井智之・荒川 明（農研九沖）
P18	荒廃オーチャードグラス草地にペレニアルライグラスを追播した後の1、2番草の栄養価に及ぼす 土壌pH、2番草の刈取時期および追播機械の影響 ○東山雅一・的場和弘（農研機構東北農業研究センター）
P19	荒廃オーチャードグラス草地にペレニアルライグラスを追播した後の利用2年間の乾物草量に及ぼす 土壌pH、2番草の刈取時期および追播機械の影響 ○東山雅一・的場和弘（農研機構東北農業研究センター）
P20	神奈川県三浦半島地域におけるダイコンと子実トウモロコシの二毛作の栽培方法の検討 若島亜希子1・喜多浩一郎1・竹本 稔2・○折原健太郎1（1神奈川畜技セ・2神奈川農技セ）
P21	積算温度を用いた飼料用トウモロコシの品種選択および作業適期予測の可能性 ○安達美江子1・白川結美子1・佐藤智宏2（1ホクレン農業協同組合連合会・2サナテックシード）

3. 放牧・家畜管理・行動

P22	ドローンと四足歩行ロボットによる牛追いに対する放牧牛の行動反応の違い ○岩谷綺玲佳1・田村佳音2・宮城帆乃佳2・宮本咲耶2・安在弘樹2（1宮崎大学院農・2宮崎大学農）
P23	放牧牛の行動分布把握に向けた低コストGPSデータロガーの位置精度に及ぼす記録間隔の影響 ○花村克起1・中嶋紀寛2（1農工大農学府・2農工大FSセ）

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P24	ギ酸と乳酸菌・酵素混合製剤の併用添加が無予乾リードカナリーグラスサイレージの発酵品質に及ぼす影響 ○湊 啓子1・岸田美月1・角谷芳樹1・谷口大樹2・阿部健太郎2・壹岐修一2（1道総研畜試・2雪印種苗）
-----	---

6. 育種

P25	遺伝子型×環境交互作用のマッピングの試み：フェストロリウム地域適応性検定試験を例に ○田中常喜1・田村健一2・秋山雄希1・山田敏彦3（1道総研酪農試・2農研機構畜産研究部門・3北海道大学）
P26	初期生育に優れ、越夏性を向上させたフェストロリウム 新品種「なつひかり」の育成 ○清 多佳子1・上山泰史1,2・内山和宏1・田村健一1・岡部郁子1・江口研太郎3・山口貴史1・荒川 明4・笹孝孝英3（1農研畜産・2種子協会・3農研本部・4農研九州）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月19日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（宮崎観光ホテル東館2F ホワイエ）	
コアタイム：18日13：30－14：30 奇数番号 高校生発表 19日11：00－12：00 偶数番号	
6. 育種	
P27	ハイブリッドライグラス「東北11号HR」・「東北12号HR」の越夏性 ○藤森雅博1・清 多佳子2・内山和宏2・田村健一2・江口研太郎3・岡崎和之4・久保田明人4（1農研機構北農研・2農研機構畜産研・3農研機構本部・4農研機構東北研）
P28	早晚性が異なるアカクローバ品種の追播利用における特性評価 ○佐藤広子・秋山征夫・眞田康治（農研北海道）
P29	四倍体イタリアンライグラスとその近縁雑種の品種・系統におけるアレル頻度によるゲノミック予測精度 ○田村健一1・清 多佳子1・久保田明人2・荒川 明3・藤森雅博4・山口貴史1（1農研畜産・2農研東北・3農研九州・4農研北海道）
P30	牧草の葉の老化に伴うSGR遺伝子の発現およびクロロフィル分解とタンパク質含量との関係 ○瀬戸口碧希1・権藤崇裕2（1宮崎大学農学部・2宮崎大学フロンティア）
7. 土壌・肥料	
P31	マンガンの施用が飼料用トウモロコシおよびチモシー単播草地の乾物収量および作物体中マンガン含量に及ぼす影響 ○北畠拓也（道総研酪農試）
P32	共生性ケカビ門の菌叢解析に用いる特異的プライマーの比較 原田峻介・○齋藤勝晴（信州大院総合理工）
8. 高校生発表	
P33	雑草vs雑草 ～雑草を利用し雑草を抑制する～ ○石丸美貴・野々下裕大・安村直樹・河原美那子（宮崎南高校）
P34	根粒菌power～根粒菌から農業の発展へ～ ○藤代朋樹・岩切蒼空・川越寛人・河原美那子（宮崎南高校）
P35	都城地域の夏播き飼料用トウモロコシの殺虫剤種子処理が、ツマジロクサヨトウの食害、生育および収量に及ぼす実態調査 谷口恭平1・永緑花琳1・松下空央1・今山 航1・○今山知道1・西村啓志1・黒木聖雄1・福重美帆1・大澤桜知夫1・福留賢次1・永田 祥1・梅木一馬1・石井康之2（1都城農業高校畜産科・2宮崎大農）
P36	牛の乳房炎を予防する敷料を作る ○上松祐菜（宮崎大宮高校文科情報科）
P37	夏播き栽培赤紫色スイートコーンの生育、収量、食味および粗飼料利用の南九州における地域適応性 ○前蘭啓太1・椎葉大珠1・山口颯馬1・兒玉政光1・西村拓也2・井戸田幸子2・西村幸次3・石井康之2（1宮崎農業高校・2宮大農・3JSeed, Inc.）
P38	トウモロコシtoモロコシ：加水分解を用いたモロコシのADF含量低下方法について ○亀井凌汰1・黒木滉介1・永野惺太1・濱田遙乃1・松崎あすか1・三輪真咲1・甲斐吉樹1・鴨下顕彦2・石井康之3（1宮崎大宮高校文科情報科・2東京大院農・3宮崎大農）
P39	十勝中央部における夏播き暖地型作物の飼料利用適性の検討 ○佐伯圭悟1・志村 凜1・篠原和樹1・中村嘉希1・羽藤陽向1・平山晴大1・松本沙希1・蓑島 渉1・村上望斗1・川上あづさ2・澁谷 周3・今 啓人4・三浦颯太1（1帯広農業高校・2道農政部技術普及課・3雪印種苗・4道総研畜試）
ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。 ポスターは3月19日の12:00から13:00の間に撤去してください。13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。	